

製品名: NMDAR1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe83927**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.38mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000
分子量	Calculated MW: 105 kDa ; Observed MW: 120 kDa

抗原情報

遺伝子名	NMDAR1
別名	GluN1; NMD-R1; GRIN1; NMDAR1;GluN1
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q05586
免疫原	ヒト GluN1 由来の合成ペプチド

背景

NMDA 受容体複合体の構成要素であり、ヘテロ四量体のリガンド依存性イオンチャンネルとして機能し、高いカルシウム透過性と電圧

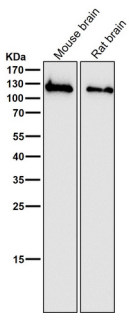
依存的なマグネシウム感受性を有する。チャンネルの活性化には、神経伝達物質グルタミン酸がイプシロンサブユニットに結合し、グリシンがゼータサブユニットに結合すること、そして Mg^{2+} によるチャンネル阻害を解除するための膜脱分極が必要である。

研究分野

-

画像データ

すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



マウス脳溶解物中の NMDAR1 発現のウェスタンブロット分析。

